

おおふなと 社協だより

 ふれあいネットワーク



2019年5月号

【特集】子育てしやすいまち・大船渡を目指して
～子育て支援3事業～……………2～3

北笹崎地域サロン「なごみ会」……………4

点訳グループ美杉会大船渡……………4

絵画サークル「鷺の会」……………5

初心者向け水泳教室……………5

お知らせ……………6～7

輝き人……………8



今月の表紙

ひらの じゅんや けいこ
平野 潤也さん・恵子さん
ごお くん もあ
冴青くん・桃朱ちゃん
(2歳) (6ヶ月)
(大船渡町在住)





子育てしやすいまち・大船渡を目指して ～子育て支援3事業～

近年、子どもを生み育てていく過程での「孤立」が問題となつています。大船渡市においても、転勤や家族構成の変化などにより核家族で子育てをする世帯も多く、身近に頼れる人がおらず、不安を抱えている家庭も少なくありません。

それらの家庭を支えるため、社会福祉協議会では、子育て支援に關する3つの事業を大船渡市より受託し、実施しています。

○利用者支援事業

子育て家庭や妊娠されている人が、子育て支援サービスなどを円滑に利用できるよう専門職員が相談に応じます。必要な情報を提供するほか、関係機関との連絡調整も行います。

職員はY・Sセンターの「つどいの広場わいわいステーション」に常駐しており、電話のほか、直接自宅へ出向いての相談にも応じます。

また、市内の関係機関とのネットワークを作り、子育て支援に関する課題解決にも取り組んでいます。

○ファミリー・サポート・センター事業

子育てを地域全体で支援するため、一時的にお子さんを預かって

欲しい人と預かることができる人に会員登録していただき、連絡調整を行います。

会員登録は無料ですが、預かってもらう時には、利用料として、お子さん1人あたり1時間500円（平日午後7時～午後9時、土日・祝祭日は600円）がかかります。お子さんが2人以上いる場合は、2人目以降は半額です。

預かる場所は、病院の待合室など、ご自宅以外の場所も可能です。講習を受講した地域の人が預かります。子育てが一段落した人、子どもが好きな人など預かっていただく会員を募集していますので、希望する人はご連絡ください。

○地域子育て支援拠点事業

（つどいの広場わいわいステーション）
子育て家庭が、気軽に、自由に利用できる、親子や子ども同士で遊んだり、親同士が会話や情報交換が行える場所を提供しています。

また、子育て家庭と地域のさまざまな人たちをつなぎ、地域で子育てを支援していきけるような取り組みも実施しています。

育児や保育に関する相談に応じることができる職員を配置しているので、子育ての不安や悩みにも応じることができます。子育てや

子育て支援に関する講習会も開催しています。

○地域子育て支援拠点の連携

市内には地域子育て支援拠点が4か所ありますが、利用者が好きな場所を選んで参加できるよう、イベントの内容や曜日が重複しないように連絡調整を行っています。

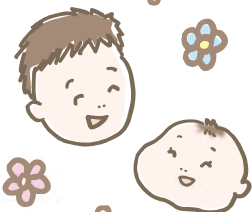
また、各拠点が共催でイベントを開催したり、それぞれのスタッフが交流を図りながら情報共有ができる機会を設けており、各拠点が連携して子育てしやすいまちを目指しています。



大好きな車のおもちゃをパクリ！

大船渡市内の

地域子育て支援拠点一覧



1

ひだまり

TEL 27-7518



毎週水曜日が造形や誕生会などテーマの日、それ以外の曜日は子どもを自由に遊ばせながら、家族はゆっくりお話をしたり、相談することができます。職員が2人常駐し、家族が息抜きできる雰囲気を大切にしています。

場 所 大船渡保育園
開設日 月曜日～金曜日(祝日、年末年始除く)
時 間 午前9時30分～正午 午後1時30分～3時30分
対 象 未就園児とその家族

2

すくすくルーム

TEL 47-5689



利便性がよく、買い物のついでに立寄ることができます。スタッフには助産師や保健師、保育士などの専門職があり、妊娠期から相談や交流することができます。1歳までの子をもつ親の「ママサロン」や妊婦さんの「マタニティサロン」では、相談のほか、ハンドマッサージやベビーマッサージを体験できます。

場 所 サンリア2階
開設日 月曜日～日曜日(水曜日休み)
時 間 午前10時～午後4時
対 象 妊婦さん、未就学児とその家族

3

おひさま広場

TEL 26-3212



広い園庭でのびのび遊ぶことができます。毎週火曜日はお楽しみ企画で季節行事や誕生会で賑わいます。転勤や結婚で大船渡市に転居した家庭の利用が多いため、知人がいないなどの不安な気持ちに寄り添えるよう、地元以外の出身職員が担当します。

場 所 猪川保育園
開設日 月曜日～金曜日(祝日、年末年始除く)
時 間 午前9時～正午 午後1時～3時
対 象 未就園児とその家族

4

つどいの広場 わいわいステーション

TEL 27-0001



毎月、健康・栄養相談を始めヨガや自力整体などの、子育て中の親がリラックスできる企画をしています。毎週火曜日には、Y・Sセンターまで来ることができない親子のため「気軽に立ち寄れる場」としておおふなぼーとで「おでかけひろば」も開催しています。

場 所 大船渡市Y・Sセンター
開設日 火曜日～土曜日(祝日、年末年始除く)
時 間 午前10時～午後4時
対 象 未就学児とその家族

協力しながら楽しい居場所を 北笹崎地域サロン「なごみ会」



お茶飲みしながら「次は何を作るうか」と手芸の本を眺めます

大船渡町北笹崎地域のサロン「なごみ会」は、月に1、2回公民館を会場にサロンを開催しています。なごみ会は、震災前から活動していたサロンですが、当時の公民館が被災したことなどから活動を休止していた期間があり、震災後に再出発したサロンです。

4月27日（土）のサロンには、9人が集まり、気仙語のラジオ体操で体を動かすことからスタート。この日は端午の節句が近いことから、吉田國子さん（80代）が兜をかぶった子どももの刺し子の図面と材料を用意してきてくれました。「同じ図面でも針運びやどこから縫うのかによって仕上がりが違ってくるので、みんなで縫っていて面白い」と吉田さん。

なごみ会では、11月の町民文化祭に向けて作品作りに励んでおり、昨年の文化祭には、パッチワークや手提げ、編み物などの作品を出品しました。手芸のほか、お菓子作りを行うこともあり、公民館の近くの家の会員が蒸し器やざるなどの道具を持ち寄り、がんばりやかまもちなどを作るそうです。

参加者の村上恵子さん（70代）は「社会福祉協議会のサロン助成を使って、手芸の本を3冊と材料を購入しました。作品がいつばいできたので北笹崎公民館でも作品展をやりたい」と話してくれました。



住民のために自分のために活動を続け今年で25周年です

岩手県内の皆さんから寄せられた共同募金を活用した助成を点訳グループ「美杉会大船渡」（笹野のぶ子代表）が受けることが決まりました。

この助成事業は、「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」を実現するために取り組んでいる団体に対し、必要機器的整備支援を行うものです。美杉会大船渡は、目の不自由な人たちへ点訳情報を届ける活動をし

点訳で安心のまちづくりを 点訳グループ美杉会大船渡

ており、長年使用してきたパソコンやプリンターなどの機材を更新するために申請しました。団体が発足したのは平成6年2月。当時、市内には、県内でも唯一、養護（盲）老人ホームがあるものの点訳版の情報を伝えるものがなく、活動がはじまったそうです。

現在は、大船渡市の広報や社協だより、時刻表や公共サービスのチラシなどを点訳化し、気仙管内の必要としている人へお届けしています。

笹野代表は、「新しい機器でスムーズに楽しく作業ができて嬉しい。募金をしてくれた皆さんの思いを点訳に込めてお届けしたい」と話してくれました。

点訳版の広報誌などが欲しい人は、美杉会大船渡または社会福祉協議会へご連絡ください。

美杉会大船渡
2616303
大船渡市社会福祉協議会
2710001

思いをカタチに 絵画サークル「鷺の会」



大船渡市Y・Sセンターでは、毎月第1・第3金曜日の午後絵画サークル「鷺の会」(櫻田靖三会長)の活動が行われています。

鷺の会は、社会福祉協議会の生きがい講座の一つとして開催した油絵教室終了後に、受講者らが立ち上げたサークルです。発足から25年が経過した現在も、教室で指導を受けた陸前高田市在住の画家、鷺悦太郎先生から



25年も続けられるのは、みんな絵画が好きだから

指導を受けながら活動しています。

鷺先生が大事にしていることは、会員の皆さんに油絵を深く楽しんでもらうこと。会員は、それぞれが描きたいものを自由にキャンバスに描いていきますが、何度も重ね塗りをする工程のなかで、被写体への思いを巡らせながら完成させていきます。

発足当初からの会員である梅澤慶子さんは、「25年間続けられるのは、毎回楽しいから。自分が描いた作品を鷺先生から指導されることで絵から絵画になっていく過程に魅力があります。毎年、自分の作品を展示してもらうことが楽しみであり、励みになっていきます」とニコリ。

櫻田会長は、「絵画は苦しみの中に楽しさがあり、楽しさの中に苦しさがあります。鷺先生は個性を尊重して伸ばしてくれる先生ですから、初めての人も安心して来てください。皆で集まるだけでも刺激的ですよ」と話してくれました。

まずは水に慣れることから 初心者向け水泳教室



水泳を覚えたい人を対象に水慣れの方法や身体の使い方など、水泳の基本から指導する「初心者向け水泳教室」を今年度から新たに開講しています。

2回目のこの日は、顔を水につけながらの水中ウォーキングからスタート。溺れないための顔の上げ方やビート板などを使った「蹴伸び」の練習を行いました。参加者のみなさんは、顔の向きや呼吸のタイミングの



ベテランの水泳指導員が、一人ひとりに合わせて指導します

アドバイスを受け浮いては立つてを繰り返しながら25mを泳ぎ、教室が終わるころにはビート板を使わずに全員「蹴伸び」ができるようになりました。「蹴伸びは、あらゆる泳ぎ方に共通する基本の動きなんです」と菅野水泳指導員。

参加者の鈴木さん(60代)は「初心者向けの水泳教室が始まったと聞き、健康維持のため、小学校以来初めてプールに入りました。体を浮かせたり沈めたり難しかったです。肺から空気を吐き出しながら、太ももを使うことがコツですね」とのこと。熊谷さん(60代)は「以前から水中運動の教室には通っていましたが、泳ぎ方を一から習いたいと思い、参加しました。先生の指導が丁寧で、今日は、初めて浮くことができて面白かったです」と話してくれました。

8月からの水泳教室でも初心者向け水泳教室を行いますので、興味がある人はご参加ください。

おでかけひろば

出張「つどいの広場」です。乳幼児の子育てをしている方ならどなたでも利用できます。
日時 毎週火曜日午前10時～午後3時
場所 おおふなぽーと2階和室
 ※慢性・先天性疾患、低体重出生児、発達障がいなど配慮が必要なお子さんのためのおでかけひろば「ゆるり」は6月26日(水) (午前10時～正午)に開催します。



* 岩手県福祉人材センター情報

介護のしごと相談

キャリア支援員が介護の職場に就職したい方などの相談に応じます。相談を希望する場合は、事前に連絡をお願いします。なお、11日(火)については、お子様連れでも相談できます。

介護のしごと相談日程 (6月)

開催日	場所	時間
3日(月)	Y・Sセンター	午前10時～午後4時
10日(月)	Y・Sセンター	午前10時～午後4時
11日(火)	おおふなぽーと	午前10時～午後3時
13日(木)	ハローワーク	午前10時～正午
17日(月)	Y・Sセンター	午前10時～午後4時
20日(木)	ハローワーク	午前10時～正午
27日(木)	ハローワーク	午前10時～正午

申込・問い合わせ先

岩手県福祉人材センター 坂本さん
 電話 080-8201-0200



* 就労準備支援事業情報

フリースペース

就労準備支援事業では、仕事をしておらず、「働く」ことに不安や悩みを抱えている人を対象に、体力づくりの機会を設けています。参加を希望する人は事務局までお申込みください。

日時 毎週木曜日
 午後1時30分～午後3時30分

場所 大船渡市Y・Sセンター

内容 卓球、スポーツ吹矢ほか

持ち物 上靴(動きやすい服装で参加してください)

「募集」「イベント」「お知らせ」など暮らしに役立つ情報をお届けします。



申込・大船渡市社会福祉協議会
 問い合わせ先 電話 0192(27)0001 (代表)

* 子育て支援事業情報

子育て支援ボランティア養成講座

下記の日程で子育て支援ボランティア養成講座を開講します。子育て支援活動に興味のある人で、参加を希望する人は事務局までお申込みください。

日時 6月7日～7月5日の毎週金曜日
 午後1時30分～午後4時

会場 大船渡市Y・Sセンター

対象 大船渡市在住の20歳以上の方

定員 20人

受講料 無料

申込方法 6月5日(水)までに電話または直接来所して申込み

子育て支援ボランティア養成講座日程

開催日	内容
6月7日(金)	保育の心 子どもの遊び
6月14日(金)	心の発達とその問題
6月21日(金)	安全・事故 子どもの栄養と食生活
6月28日(金)	身体の発育と病気 小児看護の基礎知識
7月5日(金)	子どものお世話 事業を円滑に進めるために

つどいの広場内イベント

下記の日程でイベントを開催します。お気軽にお越しください。

場所 大船渡市Y・Sセンター

つどいの広場イベント日程 (6月)

開催日	内容	時間
6日(木)	はじめてさんの日	午前10時～午後4時
	成長記録カード作り	
13日(木)	ママのための救命講習会	午前10時30分～正午
20日(木)	ハローワークお仕事相談会	午前10時～正午
	わいわいトーク	正午～午後1時
27日(木)	ともみんの健康相談	午前10時～正午

島田洋七トークショー「笑えば医者いらず」

タレントの島田洋七さんより「被災地に元気を届けたい」との申し出があり、その思いを受けた市民有志が、「笑いを通して心の復興を進めよう」とトークショーを開催します。お気軽にご来場ください。

日時 6月19日(水)
午後2時～午後3時30分
会場 大船渡市民文化会館リアスホール
入場料 無料 ※整理券が必要
整理券配布先

大船渡市観光物産協会(おおふなぼーと、盛駅観光センター、三陸町観光センター、綾里物産観光センター、碁石インフォメーションセンター)、サンリア、リアスホール

※5月27日(月)より配布を開始します。

主催・問い合わせ先

島田洋七トークショー開催実行委員会
電話 090-9534-4744(事務局：村上)

お詫びと訂正

4月22日発行のおおふなと社協だより4月号NO.305の掲載記事「表紙」の住所に誤りがありましたことを、深くお詫び申し上げます。訂正させていただきます。
誤)日頃市町在住 正)大船渡町在住

ホームページで社協活動を日々更新中です。

<http://ofunato-shakyo.com>



こどもの日 特別企画! 「笑う門には福来たる」

5/5の「鯉のぼり子どものつどい」に来場した子どもたちから「ダジャレ」を募集したんだ!
そのなかでオラが一番笑った作品はコレ!

タイのネクタイ じまんしたい

猪川小学校3年生
道上 藍輝 くん

1つのダジャレに「タイ」を3つ入れてくるなんて…
さすがだね!!
(にこにん)

- 6月号課題「花」
- 締め切り 6月5日(水) **必着**。
1人1句。
(自信作をひとつ)
はがき使用。
- 投句先
立根町字下欠125-12
「Y・Sセンター」内
大船渡市
社会福祉協議会
「ふくし川柳」係
- その他
作品によっては、
添削する場合もあります。投句者の氏名にはフリガナをつけてください。

*大船渡市Y・Sセンター情報

キッズ水泳教室

水遊びの楽しさと、プールを安全に利用するためのマナーを学びましょう。

日時 6月22日(土)
午前10時30分～午前11時30分
会場 大船渡市Y・Sセンター
対象 5歳児(年中)～6歳児(年長)
定員 25人
参加費 無料(プール利用料別途)
申込方法 5月22日(水)～前日までに電話または直接来所で申込み

筋力測定会

1分間で筋肉量、体脂肪量、水分量等がわかる筋力測定会を開催します。測定料は無料で、事前の申込みは不要です。

日時 6月22日(土)
午前10時～正午(午前の部)
午後1時～午後3時(午後の部)
会場 大船渡市Y・Sセンター
参加費 無料



「ふくし川柳」

課題「雑詠」 富谷英雄 選

騒ぐほど「令和」効果有り無しや
越・平田 栄夫
卒寿すぎ昭和平成令和生き
猪・千葉 芳子
平成のハート虜にしたイチロ
大・新沼都紀子
五年祭人口減少目の当たり
赤・沢田 笑子

《佳作》

老人の 笑顔ほのぼの 鯉のぼり

立・田沢 博昭

(評)5月5日の「こどもの日」には各地で様々なイベントが行われた。鯉のぼりも優雅に泳ぐ。これを眺めるお年寄りたちの笑顔も満開だ。

輝き人

この えみり
紺野 英美里さん (21歳)



大船渡町出身。平成31年4月より社会福祉法人典人会認知症対応型グループホーム平で看護師として従事。入所者から日々学びながら自身のスキルを磨く。

自立した看護師を目指して

●看護・福祉の道へ

高校卒業後、盛岡市の歯科衛生士の専門学校へ進学しましたが、学んでいくなかで、口腔ケアだけでなく全身ケアについて学びたいと思うようになり、准看護学校で学びなおすことにしました。

看護学校卒業後は、医療機関への就職も考えましたが、おじいちゃん、おばあちゃんが好きだったこと、親元を離れてみて地元が好きだったことに気付かされたことから、地元の高齢者施設への就職を希望し、社会福祉法人典人会に入職しました。

●笑顔に励まされ

普段は、入所者9人の健康管理や身の回りの生活のお手伝いをしています。

入所者の皆さんは認知症により、記憶が続かなかつたり、時間や場所がわからなくなつたりするため、見守りや声掛けなど

が必要で。そのような毎日の関わりのおかげで、時には服薬などの生活に必要な援助を拒否されてしまうこともあります。自分の何が悪かったのか考えさせられる日々ですが、休日後の出勤時に「久しぶりだね」と声を掛けてくれる入所者の笑顔に励ましとやりがいを感じています。今、入所者の皆さんと関わっていくことが楽しくて仕方ありません。

●さらなる高みへ

グループホームには、医師が常駐しているわけではありません。そのため、看護師には、入所者の体調の変化などにすぐ気が付き、対応できる高い知識と経験が求められます。また、准看護師は正看護師の指示を仰ぎながら看護業務をすることになつており、准看護師である私では自立した看護師とは言えない状

況です。

そのため、現在、終業後に、高等看護学校へ通学し正看護師資格取得を目指しています。毎日、帰宅は遅くなりますし、日常業務とのバランスを取ることは大変ですが、もつと上を目指すのは今しかないと思つています。

●認知症・入所者へ向き合うこと

認知症は、現在の医療では治すことができず、進行を緩やかにすることしかできない病気です。しかし、治すことはできなくとも、一緒に付き合っていくことはできます。自分の声掛けや接し方で少しでも認知症の進行が緩やかになり、入所者の皆さんが穏やかに過ごしてくれたらという思いで日々仕事をしています。

これからも毎日しっかりと勉強して十分な知識を習得することで、どんな状況にも臨機応変に対応していける看護師になりたいです。